

令和4年度の減災に係る取組結果の報告

国土交通省の取組状況

■ 流下能力対策

対策箇所

・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
 (上下流バランスを確保しながら実施)

計画: 2.65km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	R3年度まで	2.65km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 2.61km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
旭川水系	R3年度まで	0.50km (累計19%)
	R4年度	0.50km (累計19%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 11.78km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R3年度まで	11.45km (累計97%)
	R4年度	11.45km (累計97%)

見直しにより対策不要となった区間を含む



旭川水系



高梁川水系

■パイピング対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊する恐れのある箇所

計画：2.98km (R5.3.31予定)

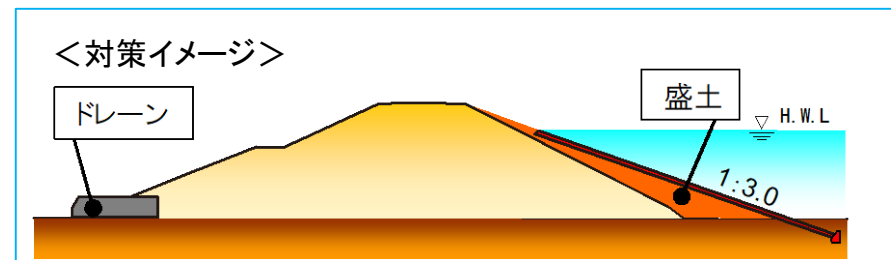
水系	年度	実施状況
旭川水系	R3年度まで	2.93km (累計98%)
	R4年度	2.98km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

■浸透対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所



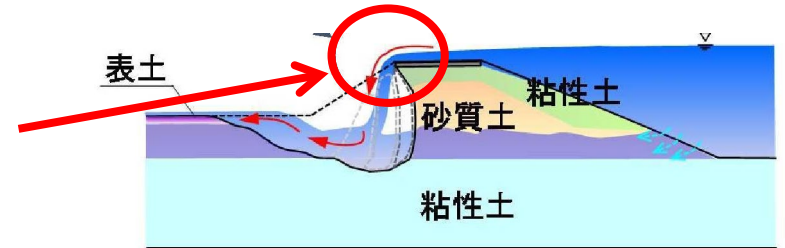
計画：2.63km (R5.3.31予定)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R3年度まで	2.48km (累計94%)
	R4年度	2.48km (累計94%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

■天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画：2.60km(完) (H31.3.31現在)

計画：1.23km(完) (H31.3.31現在)

計画：0.69km(完) (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	H28年度まで	2.60km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

水系	年度	実施状況
旭川水系	H28年度まで	1.23km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H28年度まで	0.69km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む



吉井川水系



高梁川水系

■まとめ

	吉井川水系	旭川水系	高梁川水系
流下能力対策	2.65km／ 2.65km(100%)	0.50km／ 2.61km(19%)	11.45km／ 11.78km(97%)
パイピング対策	—	2.98km／ 2.98km(100%)	—
浸透対策	—	—	2.48km／ 2.63km(94%)
堤防天端の保護	2.60km／ 2.60km(100%)	1.23km／ 1.23km(100%)	0.69km／ 0.69km(100%)

令和4年度末まで実績／全体計画(進捗率%)

■小田川堤防強化

- 平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した高梁川水系小田川において、再度災害防止を図るため、『真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策)』として、小田川の堤防強化を実施。

・事業期間： 2019年度～2023年度

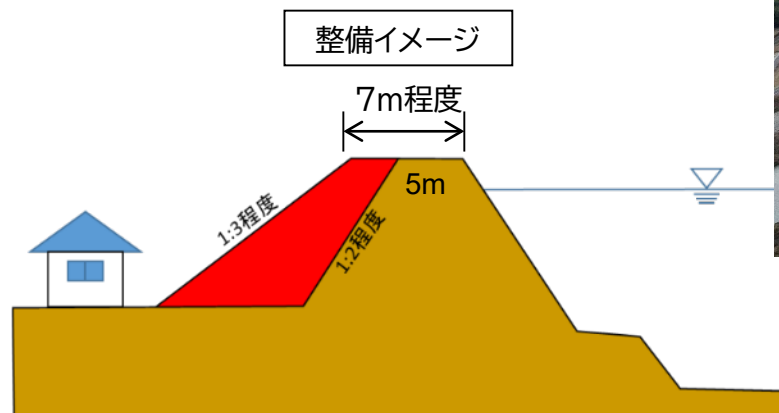
※2021年度に9.5kmが概成し、2022年度以降は樋門部等の残区間を整備中

・事業内容

小田川等の河道掘削で発生する大量の土砂を有効活用し小田川の堤防を強化

・事業効果

- (1) 堤防断面拡大やドレーン設置により、洪水時に河川水や雨水が堤防に浸透し、堤防が弱体化することを防ぐ
- (2) 緊急車両の通行や排水ポンプ車の作業のためのスペース及び緊急時の避難路の確保を目的として、堤防断面の拡大を実施



■小田川合流点付替え事業

- 高梁川と小田川の合流点を下流側に付替え、小田川の水位を抜本的に低下。
- 平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した高梁川水系小田川において、再度災害防止を図るため、『真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策)』として「小田川合流点付替え事業」の完成時期を前倒して実施。

・事業期間： 2018年度～2023年度

・事業内容

現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流に付替え、小田川と高梁川の水位を下げることにより、小田川沿川及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図る

・事業効果

- (1)洪水時に高梁川からの背水影響が減少し、小田川の洪水時の水位が大幅に低下
- (2)小田川を下流で合流させることにより、高梁川酒津地点の水位も低下



■河川防災ステーションの整備

■地域住民要望を反映した活用方策の検討：

- 河川防災ステーションの平常時の利活用に関する地域住民からの要望に基づき、倉敷市では、平成29年以降、地域住民による整備検討委員会を設置し、これまでに計7回の委員会にて合意形成を図っている
- 令和4年7月の検討委員会では、平常時の公園利用として、多目的広場、緑地広場のほか、施設配置(案)について協議が行われ、とりまとめられた
- 令和4年11月には地域が主催する健康ウォーキングのルートの一部について工事現場内を通行し、工事の進捗状況及び今後の工事予定について説明を実施



河川防災ステーション基盤整備の様子

■工事の進捗状況：

- 令和3年度より南山での掘削土を有効活用し基盤整備を行い、水防センター建設にも着手。引き続き、施設整備を推進



健康ウォーキングの様子



水防センターイメージ図(倉敷市建築中)

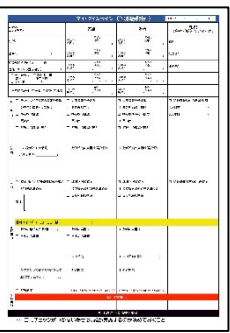
■マイ・タイムラインの作成支援

- 災害を我がことと捉え行動する意識を広めるため、マイ・タイムラインについての出前講座を継続的に実施。
- 出前講座で利用するマイ・タイムライン作成支援ツールセット『逃げキッド』には、平成30年7月豪雨で真備町内の住民から避難時に役立った物、必要と感じた物などのご意見をいただき作成したヒント集も同封。
- また、避難時に支援を必要とする「要配慮者」の避難を、要配慮者本人とその家族、隣近所、民生委員、福祉事業所職員等と一緒に考える『要配慮者マイ・タイムライン』作成のサポートも実施。

マイ・タイムライン出前講座



要配慮マイ・タイムライン作成サポート



真備町住民からの意見をまとめたヒント集を同封した『逃げキッド』

『要配慮者マイ・タイムライン』作成シートと真備町での作成実例等を記載したヒント集

※令和元年10月以降、出前講座50回以上の開催、約2000人以上が受講

■防災関係動画等を公開

- YouTubeで防災に関わる各種動画を公開。
- 要配慮者の避難について考えてもらうきっかけとするため、劇団OiBokkeShi(オイボッケシ)協力のもと、ミニドラマ『岡谷さんのマイ・タイムライン』を制作。
- 全国各地で頻発する自然災害の教訓となるよう、被災者の方々へのインタビュー動画『平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ～』を10本(1本約10分)制作。
- 倉敷芸術科学大学協力のもと、要配慮者マイ・タイムライン作成啓発漫画『僕に出来ること～大切な人を守るための要配慮者マイ・タイムライン～』を制作し、倉敷市内の公立小中学校に配布。



要配慮者マイ・タイムライン作成支援動画
『岡谷さんのマイ・タイムライン』
事務所公式YouTubeで公開中



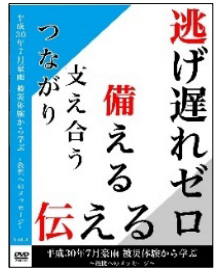
DVD版



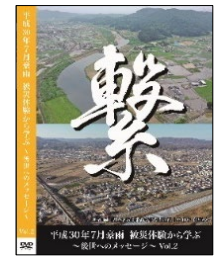
漫画版



『平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ
～後世へのメッセージ～』
事務所公式YouTubeで公開中



DVD版第一弾
(令和3年7月)



DVD版第二弾
(令和3年12月)
題字は倉敷商業高校
書道部の学生が揮毫



要配慮者マイ・タイム
ライン啓発漫画
『僕に出来ること』



事務所公式YouTubeで漫画動画も公開中



倉敷芸術科学大学制作
の真備復興漫画合体版

■住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及促進

- 倉敷市教育委員会開催の「防災行動計画」をテーマにした市民講座に岡山河川事務所職員が講師として参加し、河川防災についての知識を深め災害時に備えることを目的として、洪水等の災害時に身を守るための行動を「マイ・タイムライン」の作成を通して学習
- 国が発信する河川の情報として「川の防災情報」をウェブサイトで説明、参加者へも自身のスマートフォンを活用して確認し、洪水リスクや河川情報の見方を学習

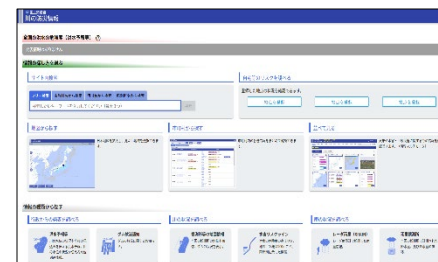
■開催日時:令和4年5月27日(金) 10:00~12:00

■開催場所:ライフパーク倉敷 視聴覚ホール

■主 催:倉敷市教育委員会 ライフパーク倉敷

■参加者:10名程度

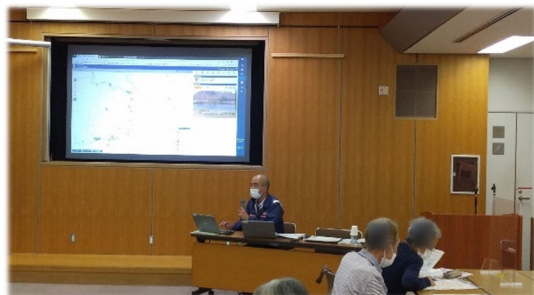
■講 師:岡山河川事務所防災情報課、倉敷市防災推進課



「川の防災情報」ウェブサイト



マイ・タイムライン検討ツール
「逃げキッド」



▲「川の防災情報」を説明



▲倉敷市による洪水リスクの説明



▲スマホで「川の防災情報」を確認

■小学生を対象とした防災教育の実施

- 岡山河川事務所の職員が小学校5年生の理科の授業を訪問し、「流れる水のはたらき」の出前授業を実施。
- 小学生は、洪水調節、河道掘削、引堤、堤防整備のそれぞれの洪水対策の班に分かれ、対策前後の模型実験を行い、実験結果とその考察について発表。職員は実験の結果を解説し、実際の治水対策について説明。
- 小学生からは「ダムはどうやってつくるのか」、「4つの洪水対策でどれが一番お金がかかるのか」といった質問があり、授業を通して水害や洪水対策について興味・関心を持って頂いた。



▲ 川を流れる水の働きや水害を防ぐための洪水対策について児童に説明



▲ 実験結果について発表



▲ 模型実験を行い説明

■ 河川に関するイベントや防災訓練等の実施

- 倉敷みらい公園、アリオ倉敷、三井アウトレットパーク倉敷で開催された「くらしき防災フェア」において、岡山河川事務所の職員が高梁川・小田川の改修状況や流域治水のパネル展示、照明車の展示を実施。
- 小学生も含めた様々な参加者からは、小田川合流点付け替え事業の効果、自宅や職場、通勤経路の浸水想定について質問を頂くなどし、河川や防災について興味・関心を持っていただいた。



展示パネルの内容について説明



照明車について説明



パネルの展示状況



展示ブース

より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

地域住民の生命と財産を守るため「災害時の応急対策に関する協定」を締結し、災害時の迅速な活動体制を確保する。

令和4年度 災害応急対策活動等(測量・設計)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川	アセス株式会社 株式会社荒谷建設コンサルタント 株式会社アークコンサルタント いであ株式会社
旭川	株式会社ウエスコ 株式会社エイト日本技術開発
高梁川 (小田川)	株式会社佐和測量コンサルタント 株式会社山陽設計 株式会社シディック 新光技術開発株式会社 西部技術コンサルタント株式会社 中電技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 日本インフラマネジメント株式会社 復建調査設計株式会社

令和4年度 災害応急対策活動等(写真撮影)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川 旭川 高梁川 (小田川)	株式会社秋山測量設計 株式会社ウエスコ 株式会社エイトテック 株式会社エイト日本技術開発 国際航業株式会社 株式会社シディック 西部技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 株式会社パスコ

令和4年度 河川等災害応急対策活動等基本協定

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川	栄光テクノ株式会社 大森建設工業株式会社 株式会社村上興業 株式会社元浜組 株式会社吉田組
旭川	アイサワ工業株式会社 株式会社荒木組 株式会社大本組 株式会社奥野組 株式会社笹山工業 有限会社佐山建設 株式会社三幸工務店 株式会社竹内組 蜂谷工業株式会社
高梁川 (小田川)	株式会社一力興業 株式会社大森工務店 株式会社小田組 株式会社カザケン 株式会社片山工務店 株式会社シンケン 中央建設株式会社 株式会社ナイカイアーキット 中村建設株式会社 株式会社ニシテクノ 株式会社藤原組 株式会社堀工務店 三宅建設株式会社

令和4年度 災害応急対策活動等
(排水ポンプ車・照明車の運送及び運転操作業務)

災害対策用機械	協定締結業者名(五十音順)
排水ポンプ車	株式会社荒木組 栄光テクノ株式会社 株式会社奥野組
照明車	株式会社小田組 株式会社笹山工業
待機支援車	株式会社三幸工務店 株式会社シンケン 蜂谷工業株式会社 三宅建設株式会社 株式会社村上興業

より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

令和3年度の災害応急対策活動については、令和3年8月14日出水によりドローンによる撮影を3件、排水ポンプ車の運転対応を1件行った。なお、令和4年度は災害応急対策の活動なし。

実施状況(令和3年8月14日～15日)

実施状況(令和3年8月15日)



百間川分派状況撮影(8月14日撮影)



排水ポンプ車運転状況(赤磐市)



高梁川合流点状況撮影(8月14日撮影)



吉井川合流点状況撮影(8月15日撮影)

■ 排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。令和4年度は、高梁川、旭川、百間川、吉井川の4会場で操作訓練を行い、高梁川会場では倉敷市と合同で操作訓練を行った。(延べ参加者約180名)

災害対策機械訓練状況(高梁川水系訓練5月25日、旭川水系、吉井川水系訓練6月13日(百間川6月9日))



高梁川排水ポンプ車訓練(令和4年)



旭川排水ポンプ車訓練(令和4年)



吉井川排水ポンプ車訓練(令和4年)



倉敷市と合同で操作訓練(令和4年)



旭川照明車訓練(令和4年)



吉井川照明車訓練(令和4年)

岡山県の取組状況

■河川の流水を阻害する堆積土や繁茂樹木の除去

河道内整備実施計画に基づく河道掘削・樹木伐採

【現状・課題】

・平成30年7月豪雨以降、越水が発生した箇所等を中心に、河道掘削、樹木伐採に集中的に取り組んできたが、対策の必要な箇所は依然として数多くあるため、「河道内整備実施計画」に基づき、優先度の高い箇所から効果的、効率的に実施しているところ

【河道内整備実施計画】

目的：河道内整備（河道掘削、樹木伐採）が必要な箇所を明確化し、効果的・効率的に河川の流下能力の維持・向上を図る

計画年度：令和2年度～令和6年度

計画目標：優先度ランクA箇所の解消、優先度ランクB箇所の延長を約3割削減

【優先度】

ランク	判定の概要	延長
A	優先度が特に高く緊急に対策が必要な箇所	約 17km
B	優先度が高く対策が必要な箇所	約 305km
C	当面は経過観察する箇所	約 438km

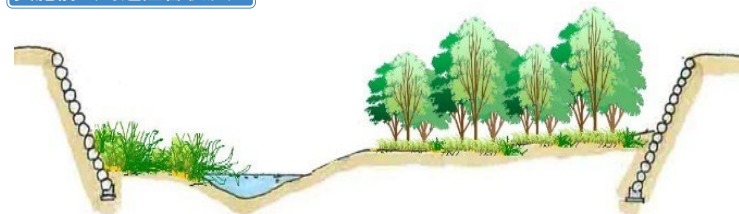
堆積・繁茂区間の約760kmについて、箇所ごとに「影響度」と「重要度」から「優先度（ランクA・B・C）」を評価し、優先度の高い箇所から対策を実施する

【河道掘削・樹木伐採の実績】

・令和3年度までに、ランクA・ランクBのうち約53kmの対策を実施

河道内整備のイメージ

実施前（河道阻害状況）



実施後（掘削・伐採）



河道内整備の実施例

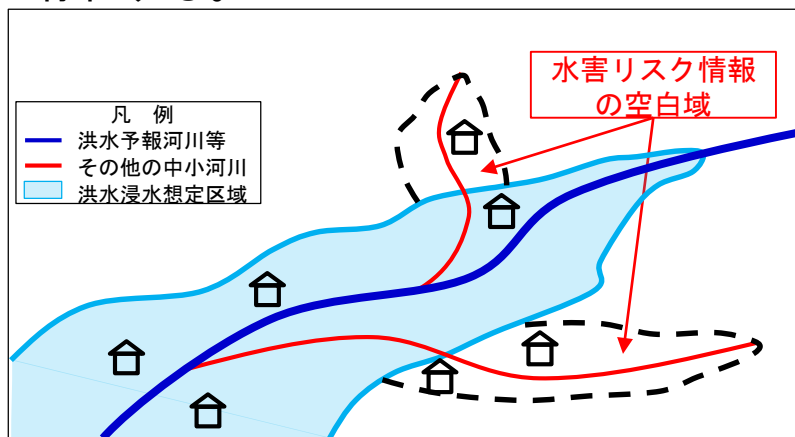


■ 洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)

洪水予報河川等については令和3年度までに洪水浸水想定区域図を公表しているが、その他の中小河川についても浸水被害が全国で多数発生していることから、洪水浸水想定区域図を作成し、洪水による水害リスク情報の空白域を解消する。

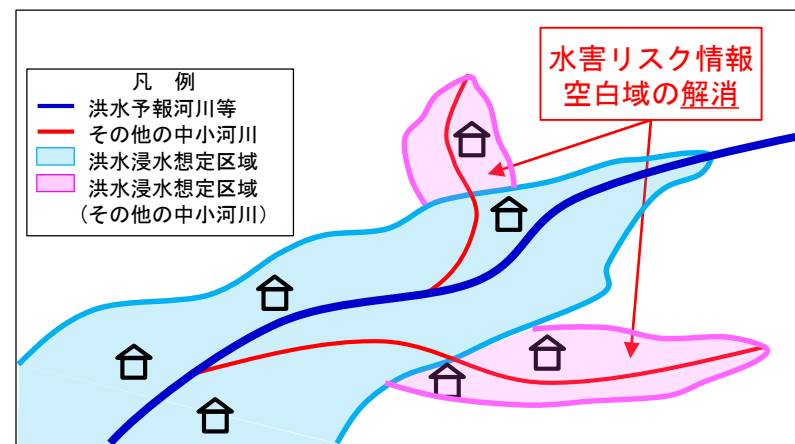
◆ 現状・課題

中小河川では、一部を除き、洪水浸水想定区域図を公表しておらず、水害リスク情報の空白域が存在する。



◆ 取組内容

中小河川の氾濫により浸水が想定される範囲について、洪水浸水想定区域図を作成。



◆ 効果

洪水浸水想定区域図を、水害リスク情報として公表することにより、住民等の水害を「我がこと」として捉える意識の醸成が進み、洪水時における円滑かつ迅速な避難行動が促進される。

◆ R4実施内容

高梁川水系の中小河川において、**想定最大規模(L2)**及び**計画規模(L1)**の洪水浸水想定区域図を作成。

■ 災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

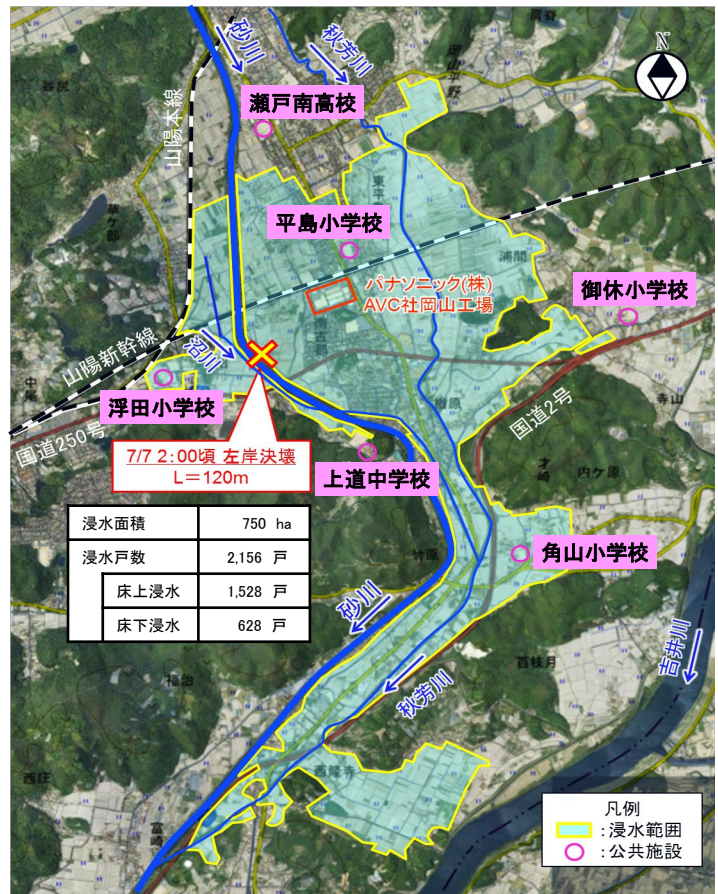
災害復旧教室の開催(砂川)

平成30年7月豪雨で堤防が決壊し、多くの家屋が浸水被害を受けた砂川において、将来を担う地元小学校の5年生を対象に災害復旧教室を開催した。

- 《内容》
- ・ 災害の事例、堤防決壊のメカニズム
 - ・ 平成30年7月豪雨災害の復旧工事の状況



災害復旧教室



平成30年7月豪雨による砂川の浸水状況

■防災の日・防災週間にあわせた防災の普及啓発

【目的】
 いつ起こるかわからない地震や風水害に対して、県民自らが災害に備えることの重要性を呼びかけ、県民の防災意識の高揚を図る。

【内容】

- ・毎年、防災の日(9月1日)及び防災週間(8月30日～9月5日)にあわせて、ホームセンター等に防災コーナーの設置協力を依頼
- ・令和4年度は、新たに岡山県立図書館、岡山高島屋と連携して防災コーナーを設置
- ・県が作成している防災ガイド「ももたろうの防災」や、「コロナ禍における避難行動啓発」チラシの配布、啓発パネルの展示等を実施

【効果】

- ・防災ガイド・チラシの配布による県民の防災意識向上
- ・防災グッズ等を活用した備えの促進



岡山県立図書館



岡山高島屋

■おかやま防災ポータル

【目的】
 岡山県危機管理課が運営するおかやま防災ポータルの周知により、県民一人ひとりが自ら防災情報を入手し、災害時には適切な避難行動をとる「自助」の取組の促進を図る。

【内容】

- ・おかやま防災ポータルは、岡山県危機管理課が運営する防災情報ポータルサイト
- ・災害による被害の防止や軽減などのために必要な防災情報・気象情報などを提供
- ・県が主催する防災セミナーや自主防災リーダー研修会・自主防災組織リーダー研修会、出前講座等で、チラシの配布及び説明を実施

【効果】

- ・参加者のおかやま防災ポータルの活用
- ・参加者による各地域でのおかやま防災ポータルの普及



防災ポータル
 チラシ

自主防災リーダー
 研修会



令和4年11月19日、今在家河川防災ステーション(岡山市中区)にて、「岡山県水防技術講習会」を開催し、消防団員等15名により、水防工法の演習等を行いました。

また、本講習会へは、自主防災組織の方々も参加し、水防活動への理解を深めました。



講義



改良積み土のう工法



土のう作成



ロープワーク



吸水土のう紹介



自主防災組織による見学

市町村等の取組状況

■ 中学2年生を対象とした防災教育

■ 実施時期 : 令和4年度～

■ 実施校 : 倉敷市立中学校(全26校)

■ 単元名 : 「災害と向き合い、家庭や地域の力になる」

■ 概要:

○ 令和3年度に倉敷市立西中学校第2学年において、モデル授業を実施した。

○ 令和4年度は第2学年の総合的な学習の時間で、3時間以上を目安に実施した。

○ 過去の災害を振り返り、今後発生が想定される災害への備えについて「自助」に加えて、「共助」の視点で考えることができるように単元を設定した。中学生という発達段階を踏まえ、知識や技能を獲得するだけの学習に終わることなく、生徒自身が、「家族や地域のために自分たちに何ができるのか」を考え、自主的・主体的な学習ができるようにした。

○ 各校が実態に応じて計画を立て、関係機関や地域と連携・協力し、様々な活動を行った。



【真備地区での防災・減災現地研修
(令和3年度モデル授業)】



【復興支援に尽力されている方々への
メッセージ作成(令和3年度モデル授業)】



【小学校との合同避難訓練】



【地域の防災士による講話(避難訓練)】



【要配慮者の支援について漫画で学習】



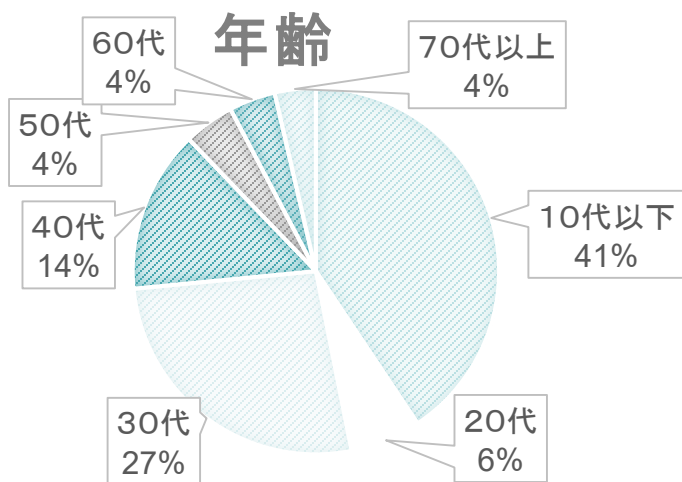
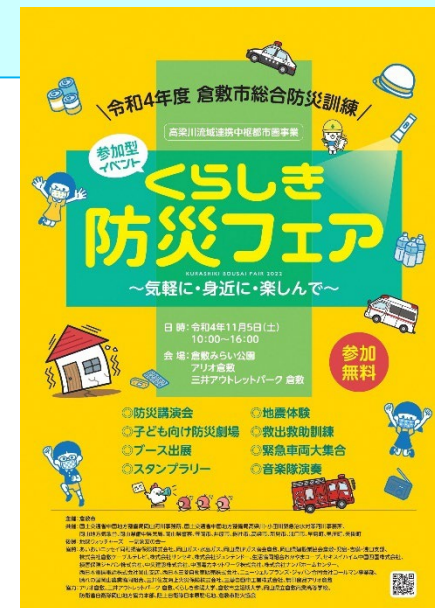
【防災食体験】

■くらしき防災フェアの開催

- 開催日時: 令和4年11月5日(土) 10:00~16:00
- 場所: 倉敷みらい公園、アリオ倉敷、三井アウトレットパーク倉敷
- 参加者数: 約1万人
- 実施内容: 防災講演会、子ども向け防災劇場、ブース出展、
防災ワークショップ、救出救助訓練、緊急車両展示ほか

■概要

- ・市民の防災意識の向上のため、大人から子どもまで、誰もが気軽に楽しく参加できる防災の普及・啓発イベントとして、初めて実施した。
- ・若い年齢層やご家族で参加いただけるような内容にした。
- ・ワークショップの運営を防災士等に一任し、地域防災力の向上にも寄与することができた。
- ・非常に多くの方に参加いただき、防災を身近に感じていただく機会の提供ができた。



■防災メールの普及啓発

普及率が高い携帯電話，スマートフォン等にメール，LINEで災害情報等を配信し，より多くの市民に正確かつ迅速に災害情報を伝え，適切な避難行動に繋げることを目指している。

LINE 災害情報などをLINEでお知らせするサービスを開始しました！

配信情報

- ・気象情報（大雨警報など）
- ・災害情報（避難勧告，避難所情報など）
- ・火災情報
- ・行方不明者情報，オキシダント情報，新型コロナ情報

友だち追加の検索でも登録できます→@909hvkbe

友達に追加後はLINEのトーク画面に従って登録を進めてください

問合せ先 危機管理課
0865-69-2222

登録無料 **緊急情報メール登録のお願い**

配信情報

- ・気象情報（大雨警報など）
- ・災害情報（避難勧告，避難所情報など）
- ・火災情報
- ・行方不明者情報，オキシダント情報

※新型コロナウイルス感染症に関する情報も配信しています
今後，笠岡市からの緊急なお知らせなどはこのメールを通じて配信しますので，この機会に登録をお願いします！

QRコードを読み取り友だち追加！


- ① QRコードを読み取る
- ② 表示されたアドレスに空メールを送る
- ③ 登録用メールが送付されたら必要事項を入力し登録

※注意点

- ①メールの登録料は無料ですが，通信費は個人負担となります
- ②迷惑メールの設定をしている方はメールが届かない可能性がありますので，お使いの携帯電話会社にご相談ください。
- ③QRコードが使用できない場合は空メールで「e-kasaoka@xpressmail.jp」に送信すると登録用メールが送付されます。

登録が不安な方は危機管理課（本庁3階）までご相談ください

LINEをお使いの方は左のQRコードから登録をお願いします
問合せ先：笠岡市危機管理課（0865-69-2222）




【出前講座での登録会】



【出前講座での啓発】

■井原市防災マップの改定・全戸配布に伴う周知・普及啓発

■概要

令和4年3月に改定し、4月に市内全戸に配布した井原市防災マップについて、周知及び防災情報の普及啓発を目的として、広報誌、市ホームページに加え、以下の方法で広報を実施。

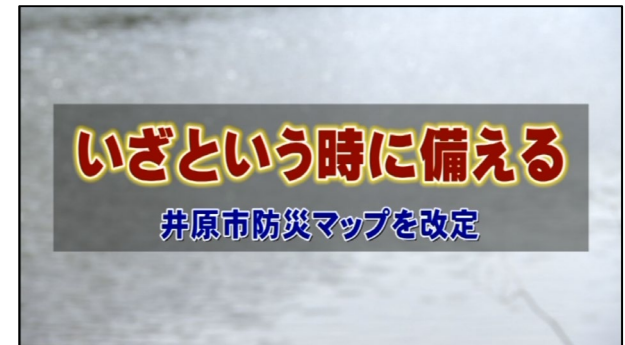
- (1) 出前講座による防災マップの活用方法、見方の説明
- (2) 防災マップ改定内容の概要版(チラシ)を作成
- (3) YouTubeに防災マップの説明動画を掲載
- (4) 防災マップの改定・見方について、ケーブルテレビにて放映・周知



(2) 防災マップ概要版



(3) YouTubeに説明動画を掲載



(4) ケーブルテレビによる周知

令和4年度 井原市水害対応訓練

開催日時

令和4年6月12日(日) 8:15~12:15

訓練参加者

井原市職員200名、市民参加40名(いずえ地区まちおこし協議会防災部会)

概要

出水期を前に、担当業務の手順の確認と習熟度の向上、組織としての対応力の向上、市民との協同による新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営等を目的として、応急対応の初動期に重点を置き、以下の4項目の訓練を実施。

- (1) 井原市水害タイムラインの運用訓練
- (2) 避難所の開設・運営訓練(★市民参加)
- (3) 被害通報への対応・整理訓練
- (4) 各種情報発信・集約訓練

(3) 被害通報への対応・整理訓練の状況



(2) 避難所の開設・運営訓練の状況



(4) 各種情報発信・集約訓練の状況



避難所の開設・運営訓練は、別日に他の3地区でも開催。

■可搬式排水ポンプの操作訓練

■開催日時: 令和4年6月9日 13:00~15:00

■実施機関: 井原市建設課

■参加機関: 井原市建設業協会、井原市農林課・都市施設課

■開催場所: 小田川河川公園(井原市木之子町地内)

■概要:

○井原市と井原市建設業協会が締結している「災害時における応急対策業務の実施に関する協定書」に基づき、災害時に井原市と連携して行う内水排除作業に使用する可搬式の軽量緊急排水ポンプユニットの操作訓練を実施しました。

○ポンプユニットの設置、発電機の起動、放水方法を展示し、実際に操作を行っていただくことで、万が一の事態における作業の流れを確認しました。



■ 軽部川の流域治水 清音軽部地区の水害対策状況報告会

西日本豪雨災害以降、国・県・市が一丸となって、軽部川の内水氾濫被害の軽減に向けた取り組みを行っている。これらの取り組みを流域の関係者で情報共有し、かつ、実践すべく「清音軽部地区の水害対策状況報告会」を開催している。



軽部排水機場の運転水位の見直し



湛井堰ゲートの事前操作



古地取水転倒堰の事前操作



軽部川の河道掘削

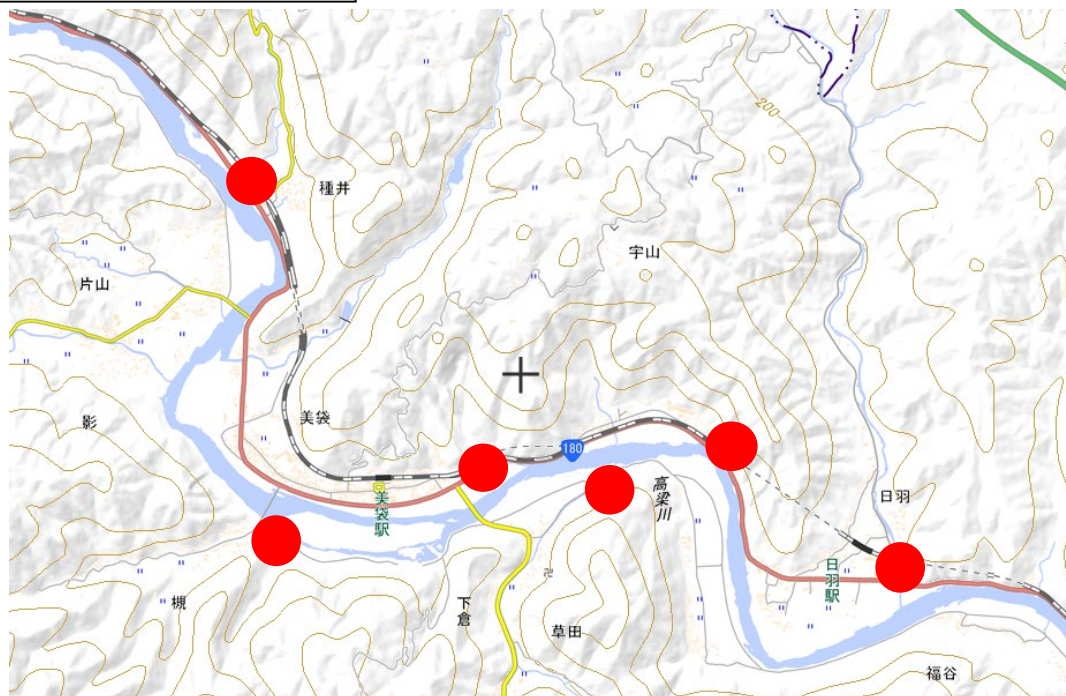


清音軽部地区の水害対策状況報告会の様子

■災害リスク早期把握のための監視設備整備

- 高梁川の増水や局地的な降雨による内水氾濫・道路の冠水等を早期に把握し、迅速な避難情報の発令等を行うべく、災害リスクが比較的高い6か所に河川監視ライブカメラ(動画)を整備。

ライブカメラ設置位置



R4年度整備(6か所)

- リモートで360度可動式、赤外線で夜間でも監視可
- 道路や河川の状況をリアルタイムに把握
- 将来的には市民への公開も検討



ライブカメラからの映像



災害対策本部で活用

■防災関係動画を作成・公開

- 防災情報冊子とハザードマップで構成される高梁市防災マップ(令和3年度作成)を各戸配布。
- 防災マップの内容をわかりやすく説明する動画を5本(1本約6分)作成し、市公式ホームページやYouTubeで公開。(備中たかはし伝えたい!の東京ホテイソンの出演)
- 防災マップの活用方法やマイ・タイムライン作成講習で活用。

高梁市防災マップで学ぶ「防災」

①災害の特徴を知ろう

もしもの時に備え「防災」が学べる動画3本を収録

まずは、災害の特徴を知ろう

高梁市出身のたけるがショゴと東京ホテイソンとしてナビゲート

水害、土砂災害、地震災害と色々ある災害の特徴を紹介
事前に防災マップで地域の災害リスクを確認しよう!

知ろう! 水害 知ろう! 土砂災害 知ろう! 地震災害

危険を知って備える事が大切な命を守る
東京ホテイソン

自然を前に人間は無力だ

いーや 備える事はできる

高梁市防災マップで学ぶ「防災」

③もしもの時に備えよう

もしもの時に備え「防災」が学べる動画3本を収録

最後は、もしもの時にそなえよう

高梁市出身のたけるがショゴと東京ホテイソンとしてナビゲート

避難する際に持ち出すものは? もしものための備蓄品は?
避難場所は? 地域の助け合いを紹介
事前に防災マップにある持出品リストを確認しよう!

避難しよう! 非常用持出品 持ちこたえる備蓄品 知ってる!? 避難場所 助け合い 自主防災組織

持出品リストに家族構成や状況に合わせて必要なものを追加

いざというときは自らの命を守るための防災行動を自分から起こさないとけない

マイ・タイムライン つくってみた

東京ホテイソンのたけるが実家のマイ・タイムラインを作成

一緒に作成するのはお父さんとお母さん!?

噂?のVチューバーも登場!!

高木家のマイ・タイムラインを真面目に作ります

非常用持出品は準備済
備蓄が豊しくなる前に必要なものを追加

高木家のマイ・タイムラインできました!

【防災学習、マイ・タイムライン作成講習会】



■効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成

- 市報にいみ6月号で、災害に対する注意喚起を行うとともに、防災マップの活用方法、避難行動や情報収集の手段など、防災知識の普及を図る特集を掲載。
- 防災マップの改訂・見方に関する行政放送番組を制作し、地元ケーブルテレビ、YouTubeの市公式チャンネルで公開。
- 市報にいみ9月号で、台風対策として事前の準備を周知。またダム放流の周知方法と情報収集の手段を紹介することで、市民が適切な防災行動をとれるための情報を提供。

【市報にいみ6月号】

【行政放送番組】

【市報にいみ9月号】

毎年出水期前には、防災に関する特集を市報に掲載している。



防災マップの確認方法

地図版

情報版

地図版と情報版の両方から確認することができます。また、スマートフォンアプリでも確認することができます。

土のうの提供

大雨に際して、土のうの提供をお願いします。ご協力ください。

- 提供可能区画
 - 1区画 1区画
 - 2区画 2区画
 - 3区画 3区画
 - 4区画 4区画
 - 5区画 5区画
 - 6区画 6区画
 - 7区画 7区画
 - 8区画 8区画
 - 9区画 9区画
 - 10区画 10区画
- 提供不可区画
 - 1区画 1区画
 - 2区画 2区画
 - 3区画 3区画
 - 4区画 4区画
 - 5区画 5区画
 - 6区画 6区画
 - 7区画 7区画
 - 8区画 8区画
 - 9区画 9区画
 - 10区画 10区画

情報収集

最新情報、市報から得る防災情報に加え、以下の方法で入手することができます。事前に防災情報収集の準備をしておきましょう。

- 防災マップ
 - 防災マップ（紙版）
 - 防災マップ（情報版）
- 防災マップアプリ
 - 防災マップアプリ（Android版）
 - 防災マップアプリ（iOS版）
- 防災マップポスター
 - 防災マップポスター（紙版）
 - 防災マップポスター（情報版）
- 防災マップ動画
 - 防災マップ動画（YouTube）
 - 防災マップ動画（ケーブルテレビ）
- 防災マップ音声
 - 防災マップ音声（YouTube）
 - 防災マップ音声（ケーブルテレビ）

新見 防災

防災マップが新しくなりました!

新見市の防災マップが新しくなりました!!



ケーブルテレビ、YouTubeの市公式チャンネルで公開

台風に関する注意喚起、ダム放流の周知方法を紹介

台風対策はお済みですか

- 土のうの準備、設置をお願いします。
- 避難場所を確認し、避難経路を確認してください。
- 避難の際は、必ず事前の準備をしておきましょう。
- 避難の際は、必ず事前の準備をしておきましょう。
- 避難の際は、必ず事前の準備をしておきましょう。

ダム放流の周知

適切な防災行動のために、Yahoo!防災速報インストールはこちら

iPhone

Android

小橋川ダム

お問い合わせ先

新見市 総務課 危機管理室

〒758-8501 新見市 三川町 高瀬

TEL 0854-71-1234

FAX 0854-71-1234

E-MAIL info@shimonoseki-city.jp

URL www.shimonoseki-city.jp

■小学生を対象とした防災教育の実施

小学生を対象に、学校、家庭や地域で講習会などを開催し、地域の防災意識向上を図る取り組みを実施した。

■小学校での防災教育

早島小学校では、5年生が「防災」をテーマに総合的な学習を実施しています。最初に町職員から町内の防災対策や水害発生時の避難場所などについて説明を受けました。学習を進め、その後、自らの学習の成果をまとめた、「防災ハンドブック」を作成しました。



■防災デイキャンプ早島

小学生のいる親子を対象に、町内のキャンプ場で、防災について学べるイベントを新聞社、企業、町の共催により実施しました。浸水被害を防ぐための土のうの作り方や設置の仕方、その他消火訓練などを実際に体験しました。



■ 関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(令和3年度～)実働水防訓練の実施

■ 河川の増水、越水等を考慮した水防訓練(土のう工法等)の開催

- 日 時 令和4年5月22日(日) 13時30分～15時30分
- 実施機関 里庄町
- 参加者数 73名(里庄町、里庄町消防団、笠岡地区消防組合)
- 開催場所 つばきの丘運動公園
- 概 要

水害による被害の軽減を図るとともに、防災関係機関相互の緊密な連携体制を構築するため関係機関合同の水防訓練を実施。訓練では、土のう作成、積土のう工法、改良積土のう工法Ⅱ型等を実施した。



(土のう作成)



(積土のう工法)



(参加者による土のう作成体験)

■B&G財団「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業の実施

●事業概要

この事業は、B&G財団が実施するもので、災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベルやダンプ、救助艇などの機材配備、災害エキスパート研修など人材育成に係る費用について、助成を行うとともに、周辺自治体との災害時相互応援協定の締結など支援体制づくりを推進するもの。

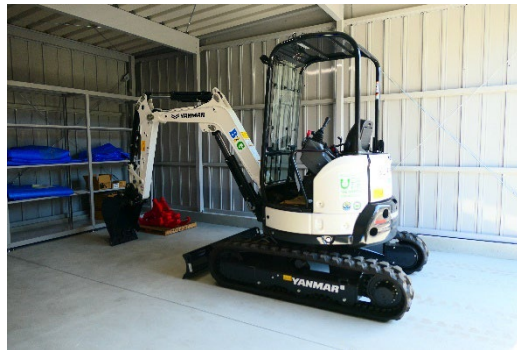
矢掛町は、令和3年度から令和5年度まで、支援金の交付決定を受けて、事業を実施中。

【配備機材】

- ・防災倉庫 93㎡
- ・油圧ショベル 1台
- ・スライドダンプ 1台
- ・救助艇 1台
- ・非常用発電機 8機
- ・給水コンテナ 8セット
- ・非常用照明 8台 等

【実施研修（令和5年度まで毎年）】

- ・小型車両系建設機械 特別研修
- ・避難所開設・運営訓練
- ・救助艇、重機研修



■中国電力管理ダムの取組み状況等について

- 2022年度の出水期を迎えるにあたり、以下について今年度も継続して取組み、新成羽川ダムの事前放流等を確実に実施した。

教育・訓練

- ・事前放流のルール徹底
 - ・ダム操作基本原則の理解と徹底(ダム放流に関する危害防止・ダム操作規程の遵守)
 - ・機器故障時における対応および連絡体制の構築
- 《国交省主催》・洪水対応演習(ダム管理演習)(5/10)
 - 《ダム管理教育》・通知・通報・巡回警告訓練
 - ・事前放流に関する研修
 - ・ダム管理基礎研修
 - ・ダム管理応用研修
 - ・ダム操作者研修
 - ・連ダム操作者研修
 - ・管理主任技術者研修

ダム操作関係設備の点検

- ・ダム操作に係る機器の点検・整備の実施(メーカー点検含む)

異常出水への対応

- ・通信手段の途絶、道路の不通等を考慮した緊急措置の確認

理解活動等

- ・関係機関・関係者に対する周知・徹底
(ダム下流域に対する理解活動の実施)
- ・当社HPへのダム画像公開(2021年6月～)
- ・川の防災情報への諸量データ公開(2021年6月～)



【各種教育・訓練の実施】



【ダム操作関係設備点検】



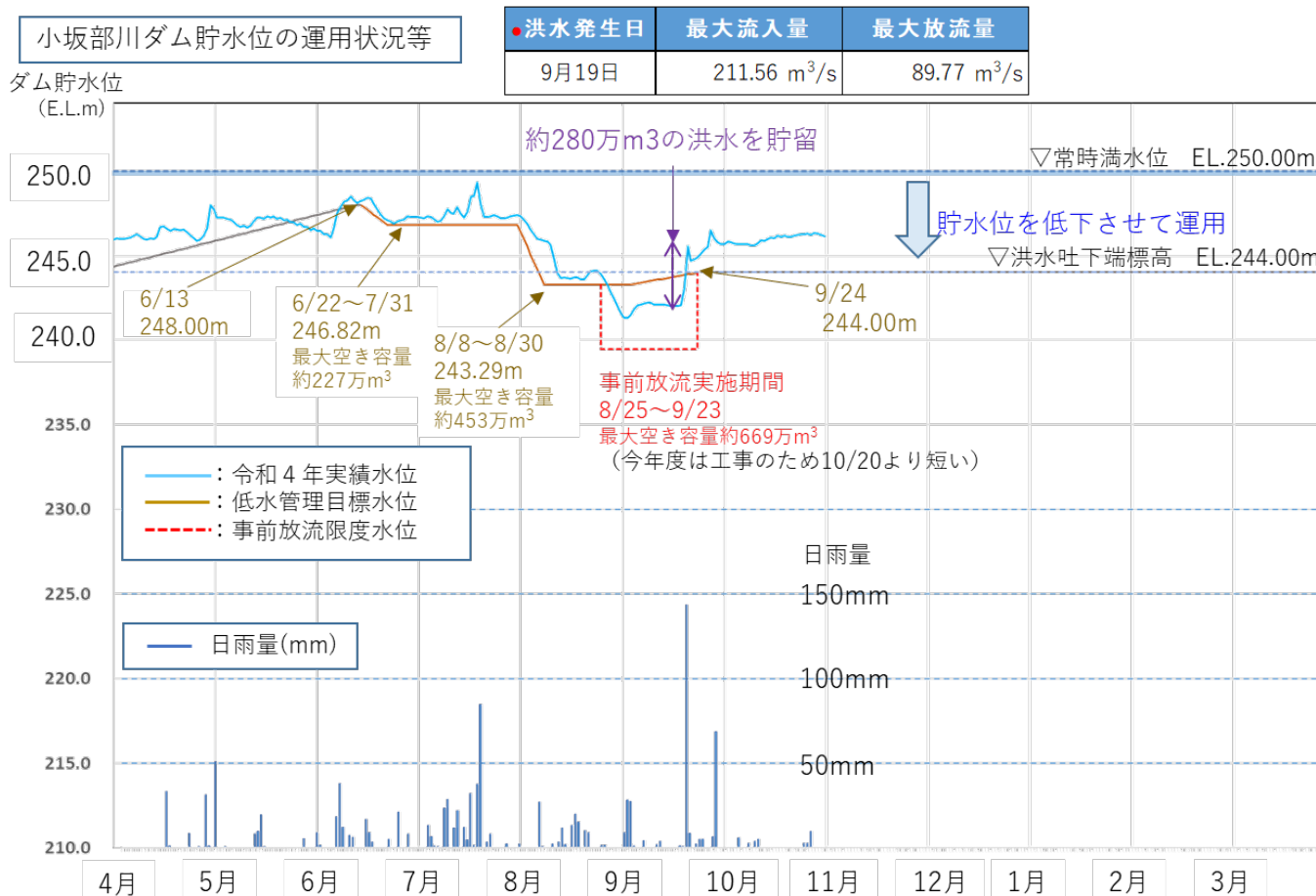
【HP画像公開】

■ダムの事前放流等の実施

令和4年度 小坂部川ダムの運用と実績

【中国四国農政局】

- 洪水に備え貯水位を低下させ空き容量を確保する運用（低水管理）を実施。
- 8月25日から9月23日の期間では、台風が接近した9月19日にまとまった降雨はあったが基準降雨量（140mm/6h）に到達せず、事前放流は実施しなかった。



かんがい期間：6/15~9/23

高梁川水系出水期：6/16~10/20

■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

- 開催日時: 令和4年6月17日 14:35~15:25
- 実施機関: 岡山地方気象台
- 受講者: 276名(倉敷鷺羽高等学校1・2年生と教職員)
- 開催場所: リモート講演(Zoom)
- 概要:
 - 高校生及び教職員の防災意識の更なる啓発と、気象知識の更なる習得のため。
 - 異常気象が引き起こす風水害や地震など、災害についての正しい知識と地域防災の在り方について説明を行った。



- 受講を終えての受講者(高校1・2年生)の感想
 - 今日の講話を聞いて、災害に対して雨が何ミリ降ったという事に、どのような意味があるのか理解する事が出来ました。いざ災害が起きた時、自分の事は守れても家族等の身近な人まで守るためには、正しい知識を知る必要があると思いました。
 - 講演を聞いて災害について興味をもつ事が出来ました。今後の自分の進路に災害時に人を助ける人命救助の仕事等も視野に入れてみようと思いました。



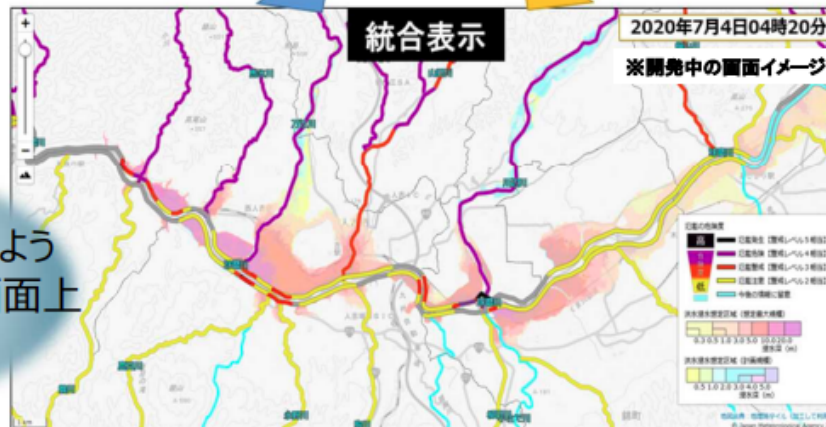
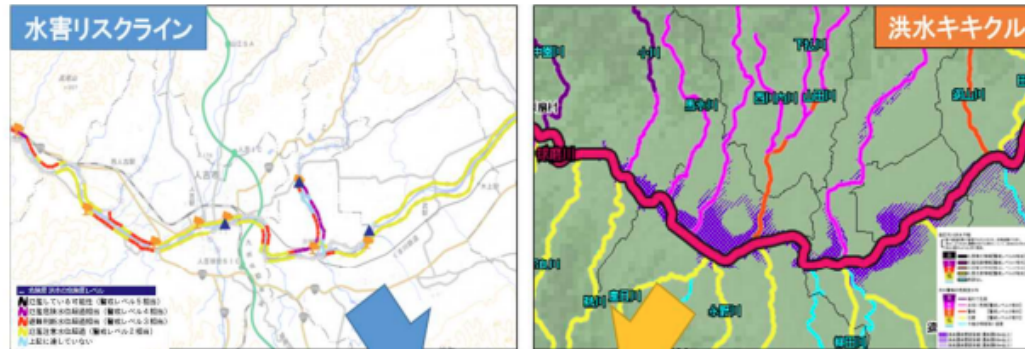
■水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示

■提供日時: 令和5年2月16日(木)

■実施機関: 国土交通省 水管理・国土保全局、気象庁

■概要: 地域の危険度を一元的に確認できるよう、気象庁ホームページ画面上で一体的に表示。

- 大河川では、河道や水位情報が充実。国管理河川においては、きめ細かな越水・溢水リスクを伝える「国管理河川の洪水の危険度分布」(水害リスクライン)を令和2年から運用開始。
- 中小河川では、水位情報などが無いため、地形情報や気象情報(雨量予測)をもとに中小河川の洪水危険度を伝える「洪水警報の危険度分布」(洪水キキクル)を運用中。
- 自治体、住民がリアルタイムに必要なリスク情報を把握するため、それぞれの危険度をワンストップで容易に確認できるよう、令和4年度の運用開始を目標に整備。



地域の危険度を
一元的に確認できるよう
気象庁ホームページ画面上
で一体的に表示